

XRGB-3のファームウェアバージョンアップに伴う取扱説明書訂正のお知らせ (CPUファームウェア Ver. 2.10以降)

新しいファームウェアにて下記機能が追加されましたので、取扱説明書の内容を追加して訂正させていただきます。

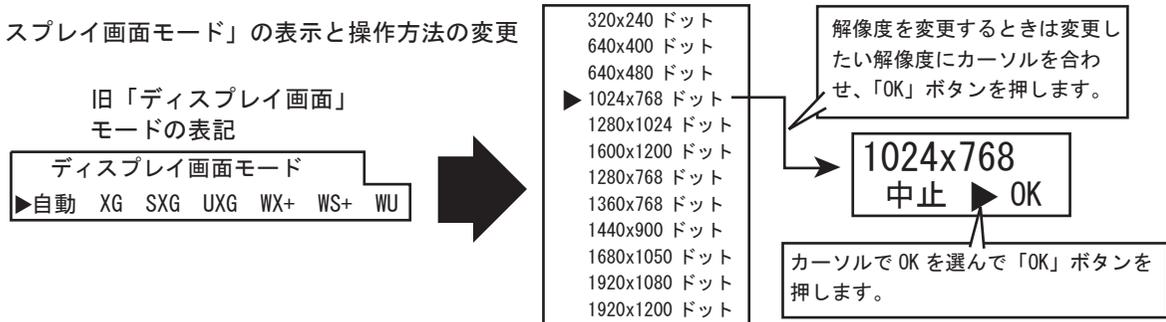
ファームウェアのバージョンアップにより、XRGB-3に対応可能なディスプレイの解像度が追加されました。

これにともない、スクリーン・メニューの「ディスプレイ画面モード」の操作が変更されたため、取扱説明書内の各種解説に関しては下記に置き換えてご参照ください。

旧ファームウェア	1024x768 ドット	1440x900 ドット	(1024/1440のランプが光ります)
	1280x1024 ドット	1680x1050 ドット	(1280/1650のランプが光ります)
	1600x1200 ドット	1920x1200 ドット	(1600/1920のランプが光ります)

新ファームウェア	320x240/640x400/640x480/1024x768 ドット	1280x768/1360x768/1440x900 ドット	(1024/1440のランプが光ります)
	1280x1024 ドット	1680x1050 ドット	(1280/1650のランプが光ります)
	1600x1200 ドット	1920x1080/1920x1200 ドット	(1600/1920のランプが光ります)

「ディスプレイ画面モード」の表示と操作方法の変更



●ワイドのディスプレイに解像度を合わせる際は、必ずスクリーン・メニューの「オプション」-「ディスプレイ画面モード」から、「1280x768 ドット」、「1360x768 ドット」、「1440x900 ドット」、「1680x1050 ドット」、「1920x1080 ドット」、「1920x1200 ドット」のいずれかを選択してください。以後は、本体前面の「MODE ボタン」を押すことで、ワイドの解像度を変更することができます。

●ノーマルのディスプレイに解像度を合わせる際は、必ずスクリーン・メニューの「オプション」-「ディスプレイ画面モード」から、「320x240 ドット」、「640x400 ドット」、「640x480 ドット」、「1024x768 ドット」、「1280x1024 ドット」、「1600x1200 ドット」のいずれかを選択してください。以後は、本体前面の「MODE ボタン」を押すことで、ノーマルの解像度を変更することができます。なお、「320x240 ドット」、「640x400 ドット」の解像度を利用する際は下記に解説されている「低解像度設定」を「オン」に変更する必要があります。

※「320x240 ドット」、「640x400 ドット」、「640x480 ドット」の表示はスケーリングの関係上、鮮明ではありません。

※「320x240 ドット」、「640x400 ドット」は旧型のディスプレイに対応する物で、現在販売されているAT互換機(DOS/Vパソコン)用のディスプレイのほとんどの機種で表示できません。

※「320x240 ドット」(15kHz)の解像度でXRGB-3への入力映像がノンインターレース映像の場合、「V同期ロック」機能が「オン」に設定されていると、画面が正しく表示されません。

※「640x400 ドット」(24kHz)の解像度はNEC PC-9801と互換の解像度ではありません。このため24kHzに対応したディスプレイであっても正しく表示できないことがあります。

※画面の解像度は本機を「工場出荷時の設定に初期化(リセット)」すると1024x768ドットに戻ります。

ご注意：<X68000専用ディスプレイをご利用の方に>

X68000専用ディスプレイに接続を検討されておられる方は、必ず下記内容をふまえた上で接続してください。水平同期周波数が24kHzに対応していないX68000専用ディスプレイに接続し、未対応解像度640x400ドットや1024x768ドット(及びそれ以上)などの解像度を入力するとディスプレイが故障する恐れがあるためご注意ください。なお、本機の640x480ドットの解像度はX68000専用ディスプレイでの表示は正しく行えません(X68000の水平同期31kHz解像度は768x512/512x512ドットでリフレッシュレートが「56Hz」のため)。

1920x1080ドット解像度のパソコン映像をスルー出力する際の注意

(パソコンの1920x1080ドットの解像度の中にはXRGB-3に対応できない物もある)

通常パソコンは、ディスプレイの解像度情報を元に映像(同期信号)を出力しますが、この際1920x1080ドットの解像度に対応したディスプレイであってもXRGB-3に対応できない解像度で擬似的に1920x1080ドットを出力(ビデオ解像度等のタイミングに合わせるため)することがあります。このような場合、XRGB-3では「オーバークロック」などになってしまうため正しいスルー出力ができません。「例えばAMD社(旧ATI社)のビデオカード(ビデオチップやIGP)から出力される1920x1080ドットのアナログRGB出力を一部の1920x1200ドットのディスプレイにアナログRGBで接続した場合、大きな解像度の映像をスケーリングによって1920x1080ドットの映像を出力することがあり、対応帯域幅を超えるためXRGB-3に入力するとオーバークロック(OVER CLOCK)になります。」また、同様のディスプレイに、nVidia社のビデオカード(ビデオチップやIGP)から出力される1920x1080ドット映像信号をアナログRGBで接続した場合、パソコンからの出力がインターレース方式になるため、スルー出力や子画面表示が正しく行えません。

なお、液晶パネル自体が1920x1080ドットでノンインターレース表示可能なパソコン専用のディスプレイの場合、通常この様な問題は起こりません。

「低解像度設定」の機能

「オプション」内に「低解像度設定」機能を追加しました。

この「低解像度設定」を「オン」に設定することで、「ディスプレイ画面モード」内の、「320x240」(15kHz)、「640x400」(24kHz)を利用可能になります。「ディスプレイ画面モード」の詳細は左記をご覧ください。

新機能「DOT_by_DOT(ドット・バイ・ドット)」の解説

「スペシャル」内に「DOT_by_DOT」機能を追加しました。

「DOT_by_DOT」を「オン」にすることで、画面の表示が下記の様に変化します。

1280x1024/1280x768ドットの時に「D4(750p)」の映像をドット・バイ・ドットで鮮明に表示可能。

1920x1080/1920x1200の時に「D3(1080i)」の映像をドット・バイ・ドットで鮮明に表示可能。

640x480/1280x1024ドットの時に「ビデオ/S/D1/D2(525i/p)/GAME INの15kHz」の映像を鮮明に表示する。

すでに画面の比率(水平や垂直)の調整をしている場合は、この機能を使用する前に、XRGB-3をリセットすることをお勧めします。

このモードでは、「上記以外の表示」や、「スクリーンサイズで画面の設定がアンダースキャンまたはD2ズームに設定されているとき」、及び「画面比率を調整したとき」に「画面のジャギー(斜め線のがたがた感)が目立つ」、「画面の位置がズれる」、「画面がディスプレイからはみ出してしまう(表示位置を調整しても改善できない)」、「正しく表示されない」といった症状が発生する場合があります。なお、この機能を使用すると子画面は一旦終了します。

XRGB-3のトラブル・相性問題などに関する解説

取扱説明書の「トラブルとQ&A」に下記事項を追加して修正させていただきます。

※最新のサポート情報は弊社Webページにてご確認ください。

- AMD社(旧ATI社)製ビデオチップ(Radeonシリーズ)や同社IGP、及びSiS社製ビデオチップや同社IGPから出力されるDVI映像(デジタルRGB)をXRGB-3のPC INに入力すると、パソコンの解像度によって、画面にノイズ・点滅などが発生したり、画面が表示されない、などの症状が発生することがあります。これはXRGB-3との相性であり、改善はできません。この様な症状が発生した場合は、パソコンの解像度を低く設定するか、nVidia社やIntel社のビデオチップを使用した映像出力やビデオカードなどをご利用ください。
- 本製品のDVI出力映像をキャプチャカードなどでパソコンに録画した場合、画面の色などがおかしくなることがあります。XRGB-3の映像出力は、液晶ディスプレイでのみ動作(表示)を保証いたします。
- XRGB-3のPC INにDVIケーブル(デジタルRGB)でパソコンを接続し、スルー出力でディスプレイに画面を表示しているとき、パソコンの起動時やパソコンの解像度の変更された際にしばらく画面が表示されないことがあります。
- 液晶ディスプレイなどを回転させ縦表示(ビポット表示)させた場合、ソフトウェアを使用した子画面表示(WINinP)は利用できません。
- 旧型の家庭用ゲーム機や、長期間使用したゲーム機は、映像出力部の電子部品の劣化などで、映像信号が変化することがあり、ゲーム画面がフラッシュ(真っ白に点滅)すると、画面が歪んだり乱れたりすることがあります。
- 本機にパソコンを接続しワイド解像度の映像をスルー出力する際は、液晶ディスプレイ専用の映像タイミングのみ対応します。液晶ディスプレイ専用の映像タイミング(Vブランク低減モード)は、通常、液晶ディスプレイを接続すると、パソコン側が液晶ディスプレイの仕様を読み取って自動で対応した同期信号を出力します。なお、左記に記載されているように、1920x1080ドットの解像度では、接続するディスプレイの機種によっては、XRGB-3で対応できない物があります。
- 本機にパソコンをアナログRGBケーブルで接続し、ワイド解像度の映像をスルー出力する際は、画質調整に「PC水平ドットマッチ」を使用してください。
- 本機の1920x1080ドット及び1920x1200ドットの画面モードは、液晶ディスプレイ専用の映像タイミング(Vブランクの短縮モード)のみに対応しています。
- 本機の640x480ドットの画面モードはディスプレイによっては「ワイド」の画面モードに認識されることがあります。
- DVI(デジタルRGB)でマルチモニター(パソコンに2台のディスプレイを接続する場合)などの環境でご使用の場合は、パソコン起動時にXRGB-3を接続した方のディスプレイ認識が遅れ、パソコン側が映像を出力しない場合があります。
- SHARP社テレビAQUOSの一部の機種では、XRGB-3の映像出力をDVI(デジタルRGB)で接続した際、画面下部が乱れたり、XRGB-3のチャンネル切り替えなどで画面が乱れたままになることがあります。この現象は解像度変更時に発生しやすい傾向があります。
- 1920x1080ドットの表示に対応したディスプレイでも、ディスプレイの機種によっては画面がオーバースキャン表示(映像が画面からはみ出すような表示)になることがあります。なお、1920x1080ドット以外でも特に家庭用テレビへの接続の場合、オーバースキャンになることがあります。
- パソコン対応の家庭用テレビの様にパソコン用ディスプレイに比べて画面の調整機能が十分ではない表示装置では、XRGB-3から出力される映像信号や、スルー出力の映像信号の表示位置が正しく調整しきれないことがあり、画面の上下左右の端が、すべて表示できないことがあります。
- パソコン対応の家庭用テレビに接続される場合は、ミニD-SUB15ピンもしくはDVI端子から入力してください。一部パソコン対応の家庭用テレビでHDMI端子からパソコン映像を入力できる機種もありますが、HDMI端子への接続に関しては、動作を保証できません。
- パソコンの画面解像度が1024x768ドットより低い解像度で子画面表示を行うと、子画面が正しく表示されません。
- パソコンの画面解像度が640x480ドットより低い解像度の時のスルー出力は正しく表示できません。

Windows子画面表示ソフト「WINinP Viewer」に関して

本パッケージに同梱のCD-ROMに収録されているWINinP Viewer Ver. 2.0.1では1920x1080ドットの解像度に対応しておりません。WINinP Viewerのバージョンアップに関しましては、今後公開予定ですので弊社Webページをご覧ください。